# 経済月報

# MONTHLY REPORT 2023

February
2
No.639

**特集**

創業 1655 年（承応 4 年）
## 太田商事株式会社

**ビジネスインタビュー**

日本屈指のワイン専門店
## 有限会社 ワインセラーウメムラ

**この人に聞く**

歴史愛好家
## クリス・グレン 氏

**新総代に聞く**

名古屋木材株式会社
代表取締役社長 **丹羽 耕太郎** 氏

大正期の太田商事本社屋

岡崎信用金庫

創業1655年（承応4年）

# 太田商事株式会社

刈谷を代表する名門企業、太田商事株式会社。
始まりは江戸時代創業の酒造業「和泉屋」に遡る。
以来、「信用・堅実」の理念のもと確かな足跡を残してきた。
代表取締役会長 太田宗一郎氏と、代表取締役社長 太田啓一氏に話を伺った。

（刈谷支店お取引先）

## 「石油」「建設資材」「紙」が三本柱

**太田商事グループは長い歴史を持ち、いくつもの事業を手がけています。**

**三河地区で多くの石油サービスステーションを運営していますね。**

現在21店舗を所有しています。

太田商事が「ENEOS」のサービスステーション（SS）を13店舗、グループ会社の泉石油が「出光興産」のSSを8店舗、それぞれ運営しています。

御承知の通り、ガソリンの小売りは大変競争の激しい世界です。

そうした中で当社の強みは大型のSSを多数有していることです。

そのため、多くのお客さまに利用して頂けることから、1店舗当たりの販売量が競合店に比べ多く、規模効果が大きい。それが、競争力の源泉になっています。

元々、グループの泉合資会社が所有している不動産の有効活用がSS事業の始まりでした。1号店の知立給油所の開業は1933年（昭和8年）です。

昨今の給油所はセルフスタンド化へと移行が進んでいることから、敷地は最低でも500坪、できれば1000坪あるのが望ましい。

大型化に耐えられるだけの保有資産と資金力があったことが強みになっています。

**ガソリン以外にも自動車に関連した事業を展開していますね。**

「カーコンビニ倶楽部」による鈑金塗装や車検を手がけています。さらに次世代車の台頭を見据え「水素ステーション」の誘致も図るなど、トータルカーサポート事業を行っています。

将来的に、ガソリン車から電気自動車へのシフトが予想されますが、当社はこれまでも多くの時代の変化に対応してきました。自ら変わりながら事業を継続していくことは十分可能だと考えています。

なお、自動車関連以外でも

2000年（平成12年）に、コメダ珈琲店を開店させました（現在6店舗）。

SS運営で培った接客のノウハウや、「笑顔・挨拶・スピード」といったスキルは外食事業に応用できると判断したからです。

**建設資材が2本目の柱ですね。**

当社の建設資材事業部は、現在6つの部から構成されています。「ビル建材部」「建材部」「空調部」「鋼材部」「住建部」「住設部」です。名称から大体の仕事の内容がイメージ頂けると思います。

元々は「金物部」という名前でした。鋼材やアルミサッシを販売店や建築業者に卸す事業形態でしたが、そのままであれば、今日の姿はありませんでした。

1972年（昭和47年）に建設業許可証を取得し、工務店やゼネコンと直接契約を結び、工事と共に商品を販売する方向へ転換しました。

さらに、1997年（平成9年）に完成した岡崎建材センターが大きな飛躍の原動力となりました。

岡崎市下青野の21500㎡の広大な土地に、建設資材事業の拠点となる大型施設を造ったのです。

この施設の完成により、刈谷駅周辺を中心とした西三河の拠点と、豊橋市の下地・神野新田にあった東三河の拠点を統合して合理化が進み、機能的な運営ができるようになりました。

現在、岡崎建材センターでの板金加工が建設資材事業部で大きなウェイトを占めています。板金と言っても小規模なものではありません。自動車関連の大型工場の屋根をイメージしてください。大きな屋根を加工するためには、置き場や配送を考えると、その地域でしかできない仕事です。建物がある限り、当社が行うことのできる加工や工事があると考えています。

**紙業部門は太田商事の原点と言えますね。**

紙業部という名称で、長年事業を続けてきました。江戸から明治時代にかけては和紙や養蚕紙を扱い、現在の主力はティッシュペーパーとトイレットペーパーです。

上質紙やアート紙などの洋紙部門もあります。

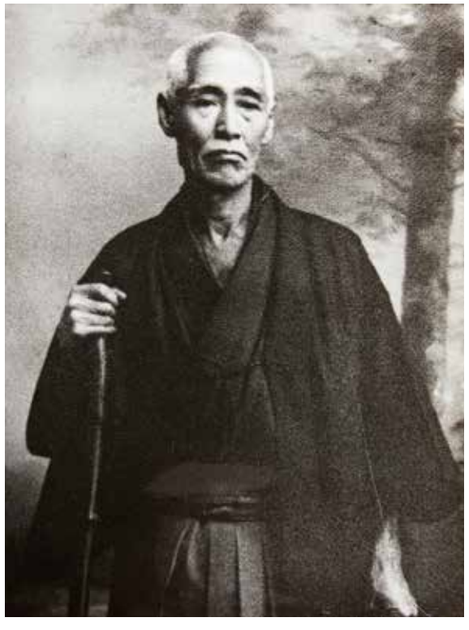
安定取引先の確保やプライベートブランド（PB）の開発など、経営努力を行ってきました。

10年ほど前、創業100年以上の同業他社をM&Aしてグループ会社として事業統合し、3年前には北陸エリアを地盤とする日用雑貨商社をグループ傘下に入れることにより、事業規模を拡大しました。

## 太田商事グループは、刈谷を中心に多くの不動産を所有していますね。

泉合資会社が、グループの不動産や資産の管理を行っています。設立は1897年（明治30年）です。十三代太田平右衛門正淑が、太田家の不動産管理運用を目的に設立しました。現在も本社ビルやテナントビル、駐車場の管理事務を行っています。

先ほど触れた岡崎建材センターやSSの建設など、多額の資金を必要とする事業運営に、太田商事グループの保有する不動産が大きな力を発揮してきました。



十三代太田平右衛門正淑

岡崎建材センター（岡崎市下青野町）

ENEOSステーション　13店舗

出光ステーション　8店舗

カーコンビニ倶楽部

車検センター

コメダ珈琲　6店舗

刈谷駅前　アカリヤ1F～4Fテナントフロア

刈谷駅前　立体駐車場

2022年完成の豊明物流センター　OTA DC ONE（豊明市）

## 保守7割、革新3割

**江戸時代の初期から現在まで、これほど長く事業を続けてこられた秘訣はどこにあるのでしょうか。**

われわれは「保守7割、革新3割」と言っています。

当社の創業は1655年（承応4年）。今年で368年を迎えます。太田商事株式会社となったのが1921年（大正10年）ですから、会社設立から102年目となります。

じつはこの間に、事業内容はずいぶん変わってきています。太田家の祖先が刈谷の地で興したのが「和泉屋」という酒造業でした。

そこから、米、綿花、菜種油、紙などの商いを行ってきました。明治に入ると石油や砂糖を扱っています。

よく商売は30年サイクルといわれます。同じビジネスモデルは30年しかもたない。300年以上続いたのは、変化に対応してきたからです。もちろん、歴史の中で培ってきた良いものは残します。そのうえで、時代が必要とするものに取り組んできました。

**戦後の農地改革の影響も大きかったそうですね。**

戦前、当社は西尾や刈谷、名古屋南部の一帯に、合わせて300町歩（約300万㎡）ほどの新田を所有していました。

自ら開発するのではなく、完成した新田を買い取って増やしてきました。新田を造るとなれば、完成までに日数もかかる、途中で台風など天災に遭う可能性もある、莫大な資金もかかると判断したからです。

収穫された米は大坂の堂島米市場を通して取引され、当社の重要な収益源となっていました。

それが戦後の農地改革により、在地地主の土地を1町歩に制限し、それを超える小作地は国が買い上げることが決定。300町歩を手放すことになりました。

ただし、市中の土地は残りました。農地改革は、太田商事が商売に主軸を置く転機となりました。

**「信用・堅実」が経営理念と聞きました。**

信用を重んじ、堅実に事業を行ってきたからこそ今日があります。

バブル崩壊後の低迷期にも、資産を活用しつつ乗り切ることができました。

その拠りどころは、十一代太田平右衛門正行が残した店方「定（さだめ）」にあります。

正行が自らの手で杉板に書き記した「定」は、経営理念「信用・堅実」につながっています。

十一代太田平右衛門正行

太田家に掲げられた店方「定」

### 店方「定」

1832年（天保3年）の正月に、十一代正行は商いの心得として、家訓たる店方『定』を制定、代々語り伝えられてきた商い精神を明文化した。

42か条から成る『定』は「定を守ること」に始まり、「新田開発をしてはならない」「茶室を立ててはならない（道楽をしてはならない）」「花鳥風流にのめり込み家業を怠ってはならない」「先祖の田畑諸道具を売って新規道具を買ってはならない」「相場での米の売買をしてはならない」「親孝行しなさい」「遊郭通いや妾を置いてはならない」「強欲をしてはならない」「金銀の具を用いてはならない」「贅沢な土蔵を求めたり用いてはならない」などが記されている。

質素倹約を尊び、米相場など投機的な事業を固く戒め、堅実なる方針のもとに努力することが明示されている。

これにより、後の経営理念『信用・堅実』が徹底されることとなった。

信長公記（陽明文庫所蔵）

### 太田家は織田信長と深い繋がりがあった

太田家の歴史は古く、戦国時代に遡る。太田一族は織田家の近習として仕えた。織田信長の一代記として有名な『信長公記』は一族のひとり、太田牛一が記した。牛一は信長に近侍し詳細な記録を残していたのである。

織田信長の三男信孝は、信長の死後、羽柴秀吉によって自害させられた。太田一族の太田和泉守牧陰は、主君信孝の死を見送ったあと、大野（現常滑市大野町）に移り住んだ。その孫の太田徳右衛門平陰氏が三河国碧海郡苅谷に移り、「和泉屋」の看板を掲げ酒造業を営んだ。この徳右衛門平陰氏が今日の太田商事の始祖である。

野間大坊（知多郡美浜町）にある織田信孝の墓

太田家では毎年、信孝の命日（5月2日）の前後に野間大坊本尊において信孝を供養することが受け継がれている。

松秀寺（刈谷市銀座）

織田信孝にゆかりある十一面観世音菩薩立像を受け継いで太田家が寄進したもので市指定文化財に指定されている。

事業者様向け　おかしん資金管理サービス

# 岡崎信用金庫 まとめて資金管理

まとめて資金管理は、複数金融機関の口座残高・明細を
ひとつの画面でまとめて管理できる無料サービスです

※「おかしんビジネスダイレクト」の契約が必要です
※「おかしんビジネスダイレクト」ご利用には当金庫所定の手数料が発生します

## 新機能追加でますます便利に

### 01 資金繰り機能

**複数口座合算や簡易資金繰予測にも対応!!**

連携口座情報をもとに簡易的な資金繰り予測や収支が確認できます。面倒な計算は不要、いつでも簡単に複数の口座をまとめて確認できます

※口座連携には、別途各金融機関とのインターネットバンキング契約が必要です

### 02 クラウド請求書ソフト無料プラン

**インボイス制度にも対応!!**

クラウドで簡単に請求書が作成できる「マネーフォワード クラウド請求書」の特別プランを無料でご利用いただけます

※『マネーフォワード クラウド請求書』以外のマネーフォワード クラウドのいずれかのサービスのご利用の場合には永年無料の特別プランの適用がされない場合があり、また、特別プランのご利用期間中にマネーフォワード クラウドのいずれかの有料プランにご登録いただくと無料プランの適用対象外となります。

## お申し込みはこちらから

### ① まとめて資金管理

下記URLより右の画面にアクセスし、
[新規登録]をクリックし、必要事項を入力して下さい

https://bfm.moneyforward.com/okashin/company

岡崎信用金庫のホームページからもアクセスできます
「岡崎信用金庫ホームページ」⇒「法人・個人事業主のお客さま」⇒
「おかしんビジネスダイレクト」⇒「まとめて資金管理」をクリックしてください

### ② マネーフォワード クラウド請求書　無料プラン提供

上記①の入力完了後、まとめて資金管理のお知らせ欄
**「マネーフォワード クラウド請求書無料プラン提供開始のお知らせ」**を
クリックすると、無料プラン提供の専用申し込みページにアクセスできます

※すでにまとめて資金管理をご利用中のお客様も、まとめて資金管理にログインし、上記のお知らせから無料プラン利用申し込みページにアクセスできます

**お問い合わせ先／岡崎信用金庫 EBサービス 0120-251-039　受付時間／平日8:45～19:00（休業日 土日祝・12/31～1/3）**

※12:30～13:00まで休止時間を設けさせていただいております。

JR刈谷駅前に立地する太田商事グループ本社ビル

## 会社概要

| | |
|---|---|
| [会社名] | 太田商事株式会社 |
| [代表者] | 代表取締役社長　太田啓一 |
| [創　業] | 承応4年（1655年） |
| [設　立] | 大正10年（1921年） |
| [資本金] | 4,800万円 |
| [売上高] | 234億円（2022年9月期実績） |
| [社員数] | 270名 |
| [関連会社] | 泉石油株式会社、株式会社和泉屋、泉合資会社、株式会社オーティーエー、株式会社内田板金、株式会社竹淺、花岡株式会社、ロジテリジェンス株式会社、株式会社トゥディック、泉製袋合同会社 |
| [事業内容] | 鋼材・鉄鋼二次製品・アルミサッシ全般・エクステリア製品・一般金物建材<br>石油および石油製品・冷暖房空調機器類等の卸、小売販売 |
| [主な取引先] | 日鉄鋼板㈱、日本製鉄㈱、三協立山㈱、三和シャッター工業㈱、ケイミュー㈱、ダイキン工業㈱、ENEOS㈱、出光興産㈱ |
| [事業所] | 本社（総務部）　刈谷市南桜町1-73　OTAビル9F<br>岡崎建材センター（建材部・ビル建材部・住設部・住建部）　岡崎市下青野町字川原崎30<br>刈谷松坂事務所（空調部）　刈谷市松坂町5-77<br>大府鋼材センター（鋼材部）　大府市横根町大猿尾125<br>第2OTAビル（石油部）　刈谷市南桜町1-25 |
| [ガソリンスタンド] | ENEOSステーション13店舗：運営会社（太田商事株式会社）、出光ステーション8店舗：運営会社（泉石油株式会社） |
| [コメダ珈琲] | 6店舗：運営会社（株式会社和泉屋） |